

各 位

平成 29 年 12 月 6 日

**生産性向上等を目的とした RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）
の試行導入について**

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ東北（代表取締役社長 櫻部 昌弘）と連携し、業務の生産性向上等を目的としたRPAの試行導入を行いますので、お知らせいたします。

当行は、この取り組みを通じて、生産性向上と抜本的な事務の見直しを図り、さらなる経営の効率化を目指してまいります。

記

1. 試行導入の内容

項目	内容
試行期間	平成29年12月11日（月）～平成30年2月中旬
RPAソフトウェア	NTTデータ「WinActor（ウインアクター）」
試行対象業務	本部で行っている預金・貸出金残高などの定型集計業務 計4業務
試行後の展開について	本試行により効果や適合性の検証を行い、平成30年4月からの全行展開を目指し、検討をすすめてまいります。

※RPAについて

- RPAとは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、これまで人間が行っていた定型作業をソフトウェアロボットが代替することで、業務の効率化・自動化を図る取り組みです。
- RPAの導入により、以下の効果が期待されます。
 - ・人手の代替や業務スピード向上による「生産性の向上」
 - ・人為ミスの削減による「業務品質向上」
 - ・簡易かつ低コストでの「業務プロセス自動化」

以上

本件に関するお問い合わせ先
広報 CSR 戦略室 二宮
TEL 023-623-1221（代表）